

「豊かな森と里の再生」

ー芦生の森と京・美山における地域と研究者の協働ー

(日時) 2021年12月19日 (日) 13:30~16:30

(場所) オンライン開催

< プ ロ グ ラ ム >

開会挨拶	日本生命財団専務理事	伯井 穂文
趣旨説明	京都大学フィールド科学教育研究センター教授	徳地 直子
成果発表		
第Ⅰ部：森の再生に向けた協働		
「大学・市民研究者・植物園連携による希少植物の域外保全」		
	京都大学大学院人間・環境学研究科助教	阪口 翔太
「地域資源ブランドを活用した高付加価値商品の開発ー芦生わさび生産組合との協働ー」		
	山口大学経済学部教授	内田 恭彦
「トチノキの保全と利用の両立を目指した芦生研究林と地域との対話」		
	京都大学フィールド科学教育研究センター准教授	石原 正恵
	〃	助教 坂野上 なお
第Ⅱ部：里の再生に向けた協働		
「美山の観光地域づくりに向けた観光客動態調査の2つの意味」		
	神戸大学大学院農学研究科特命准教授	清水 夏樹
「エコツアーガイドと行う地域の生物多様性調査の可能性」		
	京都大学フィールド科学教育研究センター特定助教	赤石 大輔
「“人”がつながる場づくりを目指して」		
	環境省近畿地方環境事務所国立公園課課長補佐	福島 誠子
総合討論	「研究者と地域の協働の課題とこれから：森と里と人をつなぐ」	
閉会挨拶	京都大学フィールド科学教育研究センター教授	徳地 直子